

イチゴハダニ類の土着天敵を利用した防除

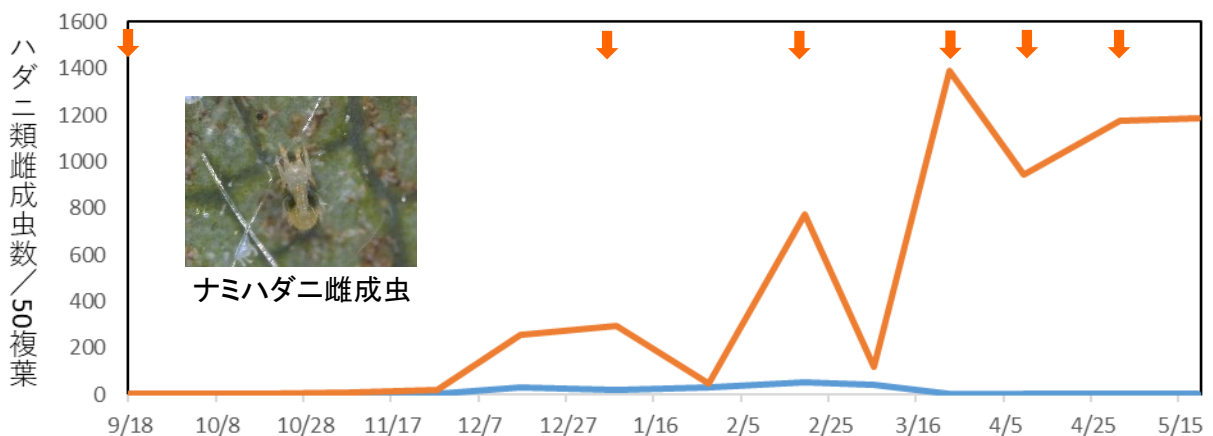
農林水産研究所

イチゴの主要害虫ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすく、安定して効果の高い殺ダニ剤は限られる状況です。

ハダニ類にはカブリダニ類、ハダニアザミウマをはじめとして様々な土着天敵が存在し、ハダニの発生を制御しています。ところが、慣行の防除体系では土着天敵に影響の強い剤も使用するため、土着天敵の効果がうまく発揮されません。

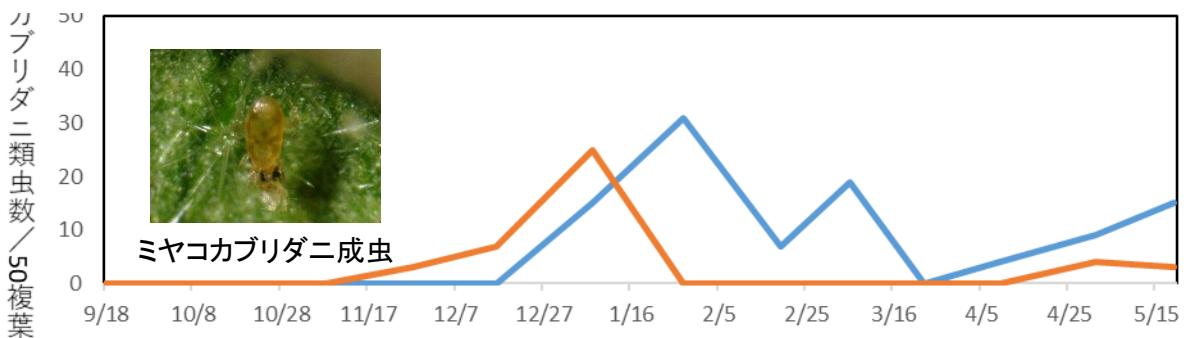
そこで、土着天敵に影響の少ない殺虫剤のみで防除体系を組み立てて防除したところ、本ほどの殺ダニ剤使用なしでハダニ類の発生を低密度に抑えることができました。これに対して慣行防除区では、殺ダニ剤を6回使用したにもかかわらず、作の後半には多発状況が続きました。

土着天敵を活用した防除は、農家に余分なコストや労力が発生せず、理想的な防除手段と考えられます。



防除体系の違いがハダニ類の発生に及ぼす影響

注) 矢印は慣行防除区での殺ダニ剤の処理を表す。



防除体系の違いがカブリダニ類の発生に及ぼす影響

— 土着天敵活用区 (ブルー) — 慣行防除区 (オレンジ)